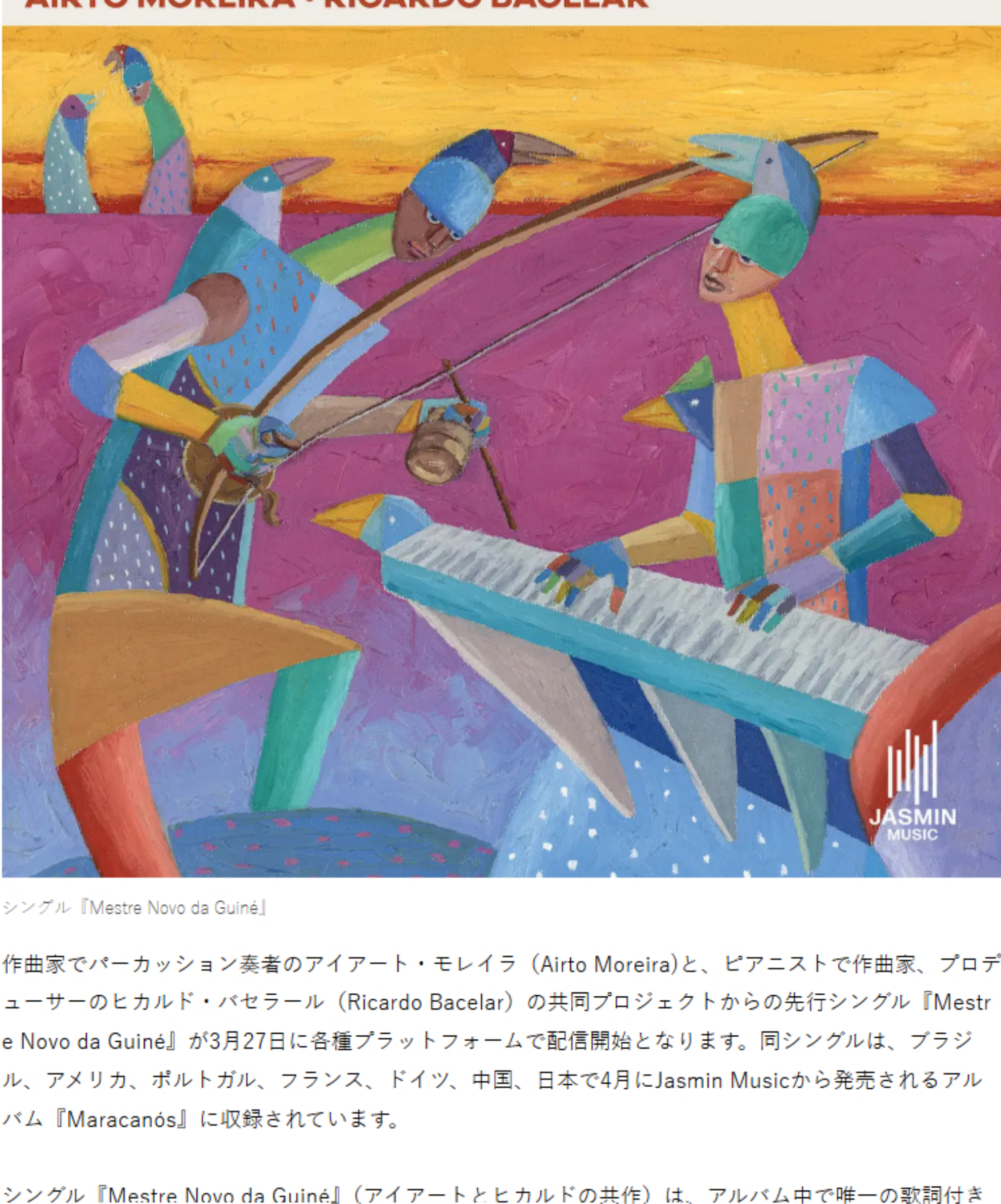


ヒカルド・バセラルとアイアート・モレイラ、ジャズとアフロ・ブラジル文化を融合したシングル『Mestre Novo da Guiné』をリリース

最新アルバム『Maracanós』に先行して3月27日に各種プラットフォームで配信開始

JASMIN MUSIC 2026年3月27日 08時46分



シングル『Mestre Novo da Guiné』

作曲家でパーカッション奏者のアイアート・モレイラ（Airto Moreira）と、ピアニストで作曲家、プロデューサーのヒカルド・バセラル（Ricardo Bacelar）の共同プロジェクトからの先行シングル『Mestre e Novo da Guiné』が3月27日に各種プラットフォームで配信開始となります。同シングルは、ブラジル、アメリカ、ポルトガル、フランス、ドイツ、中国、日本で4月にJasmin Musicから発売されるアルバム『Maracanós』に収録されています。

シングル『Mestre Novo da Guiné』（アイアートとヒカルドの共作）は、アルバム中で唯一の歌唱付きの楽曲。ルイス・リマ・ヴェルデの作詞で、バセラルがヴォーカルを担当しました。バセラルはシングル曲について、「この曲は、リーダーとなるべく運命づけられ、先祖からアフロ・ブラジル文化を代表し自由のために戦う使命を授かったメストレの人生を歌った作品で、ガブリエル・ラージェが監督した同曲のミュージックビデオは、アフロ・ブラジル文化に関する深い研究から生まれ、楽曲が持つ音楽性と映像表現が見事に融合されている」とバセラルは語っています。曲名にある「Guiné（ギニア）」は西アフリカの国であり、シングルとアルバム両方のジャケットを飾るアクレ州出身のアーティスト、フェルナンド・フランサ作の絵にもインスピレーションを与えました。バセラルによると、これらの絵は「ブラジルとアフリカの融合という要素を取り入れ、このプロジェクトのために特別に描かれたもの」だといいます。シングルのジャケットには、ピアノを弾くバセラルとビリンバウ（ブラジルの民族楽器）を手にするアイアートが描かれており、二人ともブラジルを象徴する鳥トウカンノ（オオハシ）モチーフにした帽子をかぶっています。

シングル曲の歌詞にはオシャレーやオシュマレー、イエマンジャー、シャンゴーといったカンドンブレの神々の名前が出てきます。



アイアート・モレイラ、ヒカルド・バセラル（撮影/Maria Bacelar）

音楽プロデューサーの中藤仁氏はバセラルについて、「名だたるアーティストたちタッグを組んだ作品を次々と発表しているピアニスト・作曲家」と評しています。同氏によると「バセラルとアイアートは、ジョム・トプ・アズレイを介して知り合った」とのことです。ジョム・トプ・アズレイはアイアート＆フローラのドキュメンタリー映画を手がけた監督で、日本でも公開された『エリス&トム ポサノヴァ名盤誕生秘話』の共同監督でもあります。

初めての出会い

ヒカルド・バセラルとアイアート・モレイラは、2025年にセアラー州フォルタレーザにあるジャスミン・スタジオでアイルトが行ったアーティスト・イン・レジデンス（滞在型制作活動）で初めて出会いました。アイアートは60年以上にわたり公私ともにパートナーである歌手のフローラ・プリムとシングル『Aqui, Oh!』（各種プラットフォームで配信中）や未発表のアルバム、そして現在制作中の長編映画のレコーディングと撮影を行いました。この映画は、世界のジャズ史の中で中心的な位置を占めるアイアートとフローラの二人がスタジオで再共演する様子を記録したものです。『Maracanós』は、その映画やフローラとアイアート、ヒカルドたちのアルバム制作の過程で生まれた作品で、二人の書き下ろした楽曲からなるインストールメンタル主体のアルバムです。

「制作プロセスの過程でレコーディングも進めました。ヒカルドは自身の仕事を熟知しています。ジャスミン・スタジオは素晴らしいスタジオで、最高品質のレコーディングに必要なすべてが揃っており、そこで私たちが協力して取り組めたことが非常に重要でした」と語るアイアート・モレイラは、今年4月に米国ジャズ界の最高の栄誉である「NEAジャズ・マスターズ・フェローシップ」を授与されることが決まっています。全米芸術基金（NEA）が主催のこの賞は、数十年にわたリジャズの発展に顕著な貢献をしたアーティストに贈られるもので、これによってアイアートはジャズ史上最も重要なアーティストの一人に名を連ねることになります。

ヒカルド・バセラルにとって、現代パーカッションの父と称されるアイアート・モレイラとの共演は、成熟と創造の自由が交差する芸術的交流という貴重な機会となりました。バセラルは「私たちは1週間、毎日共に演奏し、一緒にテーマを膨らませていきました。彼が2曲、私が1曲ボーカルを担当しています。非常に没入感のある仕上がりとなっており、現代の音楽業界における一般的な商業モデルとは異なる、長い尺の楽曲や旋律の探求を特徴としたアルバムを自由に作れたかった」と振り返っています。

アイアート・モレイラのプロフィール

1960年代に渡米して以来、マイルス・デイヴィスをはじめ、ウェイン・ショーター、デイヴ・ホランド、ジャック・ディジョネット、チック・コリア、ジョン・マクラフリン、キース・ジャレット、サンタ・ジョー・ザヴィスル、ジャコ・パストリアス、アル・ディ・メオラ、スタン・ゲッツ、ジョージ・ベンソンらジャズ界の巨星たちと共演を重ねてきたアイアート・モレイラを突き動かす原動力となっているのは創造の自由です。「こうした巨人たちと演奏を果たしてきたという事実は、自分が常に創造性に対して心を開いてきた証です。誰かの邪魔をするでもなく、自分自身も迷わずに作品を生み出すには、自らの音楽的本能を信じなければなりません。私は子供の頃からずっと自分の本能を信じ続けてきました」とアイアートは語っています。

現在84歳で60年を超える輝かしいキャリアを持つアイアート・モレイラは、溢れる知性を温めながら新アルバムのリリースを目前に控えています。「私たちアーティストは音楽を所有するのではなく音楽を演奏するために存在します。それは創造性に関わることであり、エゴを捨てるということにもつながります。今回、そのすべてを実現できたことを心から嬉しく思います。実際に私はインスピレーションを感じていました」。

ヒカルド・バセラルにとって、アイアートとの共演は、音楽と映画、歴史的記録を繋ぐ新たな制作サイクルの幕開けとなりました。それは世代間の対話を広げ、国際的な音楽シーンにおけるブラジルのインストールメンタル・ミュージックの生命力を改めて証明するものとなりました。

ヒカルド・バセラルのプロフィール

シングル『Mestre Novo da Guiné』とアルバム『Maracanós』はともにブラジル北東部セアラー州出身のヒカルド・バセラルが立ち上げたレーベルからリリースされました。マルチンストゥルメンタリストであり、歌手、編曲家としても活動するバセラルは、自身のレーベル「Jasmin Music」を率いて、ブラジルの良質な音楽を大切にしながら、ジルベルト・ジルをはじめ、トニーニョ・オルタ、ロベルト・メネスカル、レイラ・ピニエイロ、ジャキス・モレノバウム、フローラ・プリム、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ、ファグネル、エドナルド・アメリーニャ、デリア・フィッシャーといったブラジルのアーティストたちとともに様々な作品を送り出しています。

『Mestre Novo da Guiné』（アイアート・モレイラ/ヒカルド・バセラル/ ルイス・リマ・ヴェルデ）
アイアート・モレイラ: パーカッション
ヒカルド・バセラル: ヴォーカル、アコースティック・ピアノ、フェンダー・ローズ、ハモンド・オルガン、パーカッション、キーボード、エレキギター、サンプリング、モジュラー・シンセサイザー
ホト・ジュニオール: パーカッション
ネリオ・コスタ: エレキベース
パンチコ・ホシャ: ドラム
マルシオ・ヘセンデ: テナー&ソプラノサックス
ステニオ・ゴンサウヴェス: エレキギター
マリア・バセラル: ポーカル
サラ・バセラル: ポーカルアレンジ、ポーカル
エリエウ・フェヘイラ: ポーカル

歌詞
『MESTRE NOVO DA GUINÉ』（アイアート・モレイラ、ヒカルド・バセラル）
マレー島から響いてくる Vem da Ilha de Maré
アシュの打楽器のリズム Um batuque de axé
イウナが告げる A lúna anunciou
ギニアの新たなメストレの誕生 Mestre novo da Guiné
ギニアへと私を呼ぶ Pra Guiné me chamou
祖父から学んだ Aprendi com meu avô
自由には色はない e Liberdade não tem cor
友よ、私は歩み出す Camará vou dar no pé
カポエイラが私を呼ぶ Capoeira me chamou
ギニアへと Me chamou pra Guiné
完全なる抵抗は Resistência plena
この埠頭の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse cais
自由は私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais

オシャレーが私を立ち上がらせた Oxalá me põe de pé
オシュマレーの光の中に Na luz de Oxumaré
イエマンジャが私を洗礼した Iemanjá me batizou
イガラッパの水の中で Nas águas do Igarapé
私はシャンゴの戦士 Sou guerreiro Xangô
父は夢見たものために戦った O meu pai tanto lutou, Para ter o que sonhou
私も強い信念を持って戦おう Vou lutar com muita fé
私の息子は主（あるじ）となるだろう Filho meu será senhor
イウナが告げた A lúna annunciou
オシャレーが私を立ち上がらせた Oxalá me põe de pé
イエマンジャが私を洗礼した Iemanjá me batizou
オシュマレーの光の中に Na luz de Oxumaré
完全なる抵抗は Resistência plena
この埠頭の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse cais
自由は私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais
マレー島から響いてくる Vem da Ilha de Maré
アシュの打楽器のリズム Um batuque de axé
イウナが告げる A lúna annunciou
ギニアの新たなメストレの誕生 Mestre novo da Guiné
ギニアへと私を呼ぶ Pra Guiné me chamou
完全なる抵抗は Resistência plena
この埠頭の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse cais
自由は、私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais

本シングルは、プラットフォームで配信されます。(https://ffm.to/mestreguine)



このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります

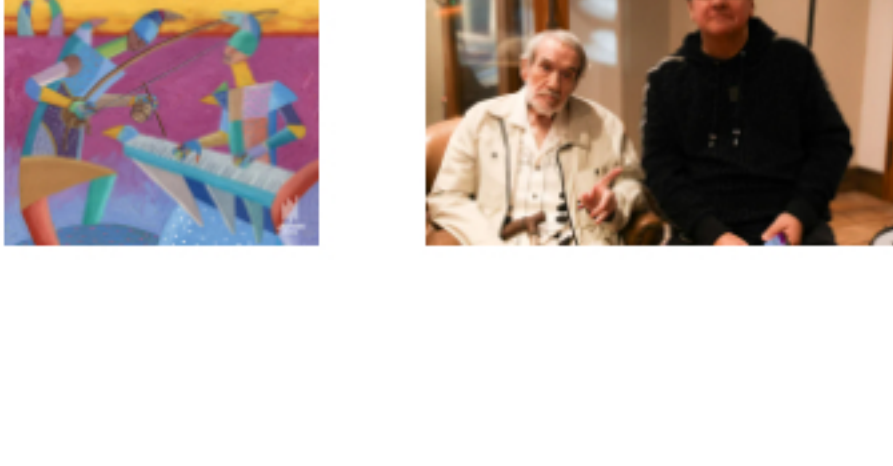
メディアユーザーログイン

メディアユーザー登録

既に登録済みの方はこちら 新規

メディアユーザー登録も行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。
※内容はプレスリリースにより異なります。

すべての画像



ジャンル

商品サービス

ビジネスカテゴリ

音楽

広告・宣伝・PR

キーワード

ヒカルド・バセラル

アイアート・モレイラ

ブラジル

ポサノヴァ

サンバ

Ricardo Bacelar

Airto Moreira

jazz

ジャズ

関連リンク

https://jasminmus.com/en/home-en

ダウンロード

プレスリリース素材

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます

会社概要

BACELAR PARTICIPACOES E PRODUcoes ARTISTICAS LTDA
0フォロワー

フォロー

RSS

URL

https://jasminmus.com/en/home

業種

情報通信

本社所在地

Av. Santos Dumont, 5753 1404T-2

電話番号

-

代表者名

RICARDO BACELAR

上場

海外市場

資本金

-

設立

1999年08月

プレスリリース

もっと見る

ヒカルド・バセラル&アイアート・モレイラ 共同制作アルバム『Maracanós』をリリース

2026年4月23日 21時00分

ヒカルド・バセラル、フローラ・プリム、アイアート・モレイラの3人によるコラボでブラジルらしさを伝える...

2025年6月19日 09時31分

ブラジル・セアラ州で行われたヒカルド・バセラルのライブ映像がリリースされる

2025年5月30日 09時59分

ジャキス・モレノバウムとヒカルド・バセラル アルバム『Aracati（アラカチ）』をリリース

2024年11月29日 11時14分

レイラ・ラレーン・ト...

2024年